

計画の推進

(1) みえ政策評価システムによる評価

みえ政策評価システム

(11301 男女共同参画社会の実現に向けた総合的な取組の推進 - 1)

2002(平成 14)年度 実績 基本事業目的評価表

基本事業名 11301 男女共同参画社会実現に向けた総合的な取組の推進

評価者 生活部男女共同参画チーム マネージャー 中谷恵子
059-224-2225 nakatk01@pref.mie.jp

評価年月日 03/06/05 18:25:36

政策・事業体系上の位置づけ

政策：人権の尊重
施策：113 男女共同参画社会の実現
施策の数値目標：男女共同参画意識普及度

基本事業の目的

【誰、何が(対象)】

県、市町村、県民が

【抱えている課題やニーズ】

男女共同参画社会の実現には、家庭、地域、職場をはじめとするあらゆる分野において様々な取組が必要であるが、県、市町村、県民が一体となった取組については、未だ十分ではない

という状態を

【どのような状態になることを狙っているのか(意図)】

男女共同参画社会の実現に向けて、協働で取り組んでいます。

という状態にします。

【その結果、どのような成果を実現したいのか(結果=施策の目的(2010年度のめざす姿))】

個人の生き方、価値観が尊重されるなど男女平等についての意識改革が進み、実質的な男女平等社会が実現しています。男女共にあらゆる分野に参画する機会が確保され、家庭、地域、職場等において男女共同参画が実現しています。また、男女共に多様な選択を可能とするための条件整備が整っています。

基本事業に関する各種データ

2002年度 基本事業に関する実績データ一覧	
基本事業の数値目標達成状況	必要概算コスト対前年度
未達成・前年度より改善	減少

基本事業の数値目標、コスト、基本事業マネジメント参考指標と実績値

みえ政策評価システム

(11301 男女共同参画社会の実現に向けた総合的な取組の推進 - 2)

		2001	2002	2003	2004
男女共同参画 基本計画を策 定した市町村 数(市町村数) [目標指標]	目標		15	20	25
	実績	10	13		
必要概算コス ト(千円)		35,123	21,719	49,975	0
予算額等(千 円)		6,883	2,769	16,685	
概算人件費(千 円)		28,240	18,950	33,290	0
所要時間(時 間)		6,708	4,407	7,742	
人件費単価(千 円/時間)		4.21	4.30	4.30	4.21
必要概算コス ト対前年度(千 円)			-13,404	28,256	-49,975
男女共同参画 研修に参加し た県職員数 (人) [マネジメント 参考指標]	目標		1445	1600	2000
	実績	1168	1978		
男女共同参画 に関する調査 研究件数(件) [マネジメント 参考指標]	目標		2	4	6
	実績	1	2		
男女共同参画 センター「フレ ンテみえ」にお ける相談件数 (件) [マネジメント 参考指標]	目標		2100	2250	2400
	実績	1969	2040		
男女共同参画 センター「フレ ンテみえ」登録 団体数(団体) [マネジメント 参考指標]	目標		256	278	300
	実績	235	399		
男女共同参画	目標		16000	18000	20000

みえ政策評価システム

(11301 男女共同参画社会の実現に向けた総合的な取組の推進 - 3)

センター「フレンテみえ」のホームページへのアクセス件数(件) [マネジメント参考指標]	実績	13904	17159		
[マネジメント参考指標]					

数値目標に関する説明・留意事項

総合的な推進にあたっては、特性に応じ、それぞれの地域で主体的に取り組まれることが重要であると考え、男女共同参画基本計画を策定した市町村数を数値目標としました。

また、この数値目標は、2002年3月に策定した三重県男女共同参画基本計画第一次実施計画に目標値として掲げています。

なお、男女共同参画基本計画策定市町村数については、調査時期の関係から、目標、実績ともにそれぞれ前年度の数値です。

2002年度マネジメント参考指標

	種類	マネジメント参考指標	数値目標の困難度	達成度 / 5点
1	事業量	男女共同参画研修に参加した県職員数	十分達成可能な目標	3
2	事業量	男女共同参画に関する調査研究件数	十分達成可能な目標	2
3	副次的	男女共同参画センター「フレンテみえ」における相談件数	挑戦的な目標	3
4	副次的	男女共同参画センター「フレンテみえ」登録団体数	十分達成可能な目標	3
5	副次的	男女共同参画センター「フレンテみえ」のホームページへのアクセス件数		3
6				

マネジメント参考指標に関する説明・留意事項

協働を進めるためには、職員の意識が高まり、男女共同参画に関する調査研究により実態が明確になることが重要だと考えられることから、男女共同参画研修に参加した県職員数、男女共同参画に関する調査研究件数を参考指標として設定しました。協働が進めば、男女共同参画センター「フレンテみえ」において相談機能が利用され、団体活動が活発化すると考え、「フレンテみえ」における相談件数、登録団体数、ホームページアクセス数も同様に参考指標に設定しました。

また、これらの指標は、2002年3月に策定した三重県男女共同参画基本計画第一次実施計画に目標値として掲げています。

なお、相談件数、登録団体数、ホームページアクセス件数については、調査時期の関係から、目標、実績ともにそれぞれ前年度の数値です。

基本事業の評価

2002年度を振り返っての評価

みえ政策評価システム

(11301 男女共同参画社会の実現に向けた総合的な取組の推進 - 5)

2	事業量	男女共同参画に関する調査研究件数	4 件	十分達成可能な目標
3	副次的	男女共同参画センター「フレンテみえ」における相談件数	2250 件	挑戦的な目標
4	副次的	男女共同参画センター「フレンテみえ」登録団体数	278 団体	十分達成可能な目標
5	副次的	男女共同参画センター「フレンテみえ」のホームページへのアクセス件数	18000 件	十分達成可能な目標
6				

2003 年度 マネジメント参考指標に関する説明・留意事項

2002～2004 年度については、同一の参考指標により経年変化を見ていきます。
 なお、男女共同参画に関する相談については、社会情勢の変化を受けて、内容が深刻化しています。フレンテみえで実施している相談にあっても、こうした背景を勘案し、量から質の重視へと対応の転換を図ることが必要であると考えています。そうしたことから、2003 年度には相談体制のあり方について検討を行うとともに、あわせて目標値を見直したいと考えています。

参考 2002 年度構成した事務事業の一覧					(予算額等：千円、所要時間：時間)			
事務事業	予算額等	対前年	所要時間	対前年	注力	改革方向	貢献度合	効果発現時期
	事業概要				マネージャーの方針・指示			
A 男女共同参画連絡調整事業	2,769	-896	4,407	599	↑	現状維持	直接的	即効性
	1 三重県男女共同参画審議会の運営 ・ 県の男女共同参画に関する施策の実施状況に関する評価を審議する。 ・ 男女共同参画に関する苦情・相談に関することについて審議する。 2 男女共同参画関係行政関係調整 ・ 県民局担当者会議・市町村担当者会				市町村等との連携を強化し、また、現状を把握するため年次報告(レポート)を作製するとともに、評価、苦情・相談についてそのあり方を検討すること。			
B 人権・男女共同参画職員研修事業(再掲)	5,554	-	3,978	-	↑	現状維持	間接的	中期的
	職員一人ひとりが、人権尊重、男女共同参画の重要性を正しく認識し、これを前提とした県政が推進できるよう、職員研修を実施するとともに、研修マニュアル等の作成に取り組む。				職員の基本的資質の一つとして人権意識がしっかりと身に付くような研修を行うこと。			